

# 平成20年度 主な事業

～伊賀市総合計画の6つの分野～

## 1 健康・福祉

▶後期高齢者医療費 8億9,330万円 (担当：本庁健康保険課)

三重県後期高齢者医療広域連合へ療養給付費の12分の1を納入します。また、後期高齢者医療特別会計に対し、事務費および保険料減額分に係る保険基盤安定制度負担金分を繰出します。

▶放課後児童施設整備事業 4,401万円 (担当：本庁少子化対策課および各支所住民課)

現在、市では12カ所の放課後児童クラブを開設しています。本年度は、上野東小学校区の待機児童解消のため、新たに放課後児童クラブを整備するとともに、島ヶ原地区でも既存の施設を改修し、子どもたちが安心して過ごすことのできる施設の提供を行います。



## 2 生活・環境

▶(仮称)治田ふれあいプラザ整備事業 8,429万円 (担当：本庁市民生活課)

治田地区にある旧治田総合庁舎の跡地を利用して、地域住民の生活改善・環境・福祉活動の拠点となる「(仮称)治田ふれあいプラザ」の整備を行います。

▶ストックヤード整備事業 9,837万円 (担当：しらさぎクリーンセンター)



しらさぎクリーンセンター内の旧ごみ焼却施設解体後の跡地を利用して、家庭から排出される資源ごみのうち紙・布などについて、一時的に保管し、また、市民の皆さんから搬入された再利用可能な資源物(家具・雑貨・子供用品など)の保管・補修・展示販売のできるストックヤードの建設を昨年度に引き続き実施します。

▶リサイクルセンター整備事業 4億603万円 (担当：本庁清掃事業課)

さくらリサイクルセンターの敷地内に市民の皆さんから排出された「金属製粗大ごみおよび金属類」「びん類」「アルミ缶」「ペットボトル」「プラスチック包装」などの資源化ごみを合理的、経済的かつ衛生的に処理する施設であるリサイクルセンターを本年度から2カ年で建設します。

▶市営住宅(阿山)建設事業 1億6,651万円 (担当：本庁建築課)

阿山地区に建築する若年層向けの市営住宅の建設費です。延床面積約790㎡の鉄筋コンクリート造、2階建ての市営住宅で、供給戸数は10戸になります。

▶市街地再開発事業特別会計繰出金 2億4,304万円 (担当：本庁市街地対策課)

市駅前地区市街地再開発事業に対する一般会計からの繰出金です。繰出基準は市街地再開発事業特別会計で実施する施設および道路分の補助事業分のうち、国庫補助金を差し引いた残りの分となります。



市町村合併直前・直後に行った投資に伴う多額の市債の償還が本格的に始まり、公債費が増えています。また、少子高齢化による社会構造の変化などに伴い、扶助費および人件費などの義務的経費も増大し、財政構造の硬直化が顕著になってきています。

そのほか、合併により増加した既存施設の老朽化対策や市域拡大のまま未調整となっている分野の調整、道路などハード整備が遅れた地域への格差是正対応など、歳出増加の要望は高まっています。

さらに、労働者人口は年々減少しており、歳入の約4割を占める市税は伸び悩んでおり、今後は、歳入の確保に向け最大の努力をする必要があります。

なお、国における道路特定財源の取り扱いにより事業が変更になる場合があります。



### 3 教育・文化

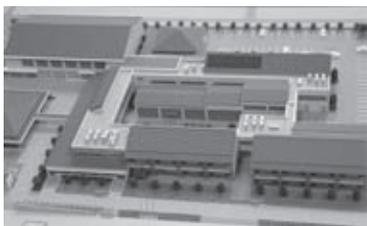
#### ▶(仮称)しらさぎ運動公園整備事業 6,600万円 (担当:本庁都市計画課)

しらさぎクリーンセンターの清掃工場跡地周辺地域で、新たなスポーツ需要に対応する運動公園を、広域防災的機能も付加しながら整備します。計画区域面積は8.0haで、事業期間は平成20年～平成26年度を予定しています。本年度は公園区域の現況調査や実施計画の策定および用地取得業務を行います。

#### ▶友生小学校校舎増築事業 3億234万円 (担当:教育委員会教育総務課)

友生小学校における児童数の急増に伴い、施設の増設を行います。建設内容は、普通教室8教室と音楽教室や図工室などの特別教室の機能を備えた2階建プレハブ校舎です。

#### ▶城東中学校建設事業 16億4,936万円 (担当:教育委員会教育総務課)



上野地区校区再編計画の実現のための第1段階として、中学校区の再編に取り組んでいます。崇広中・桃青中・府中中・緑ヶ丘中の4校を(新)崇広中・(新)緑ヶ丘中・城東中の3校に再編します。昨年度に引き続き、本年度は城東中学校校舎の建築および通学路関係の整備をし、平成21年度に開校の予定です。

### 4 産業振興

#### ▶産学官連携研究開発拠点整備事業 2億7,021万円 (担当:本庁企画調整課)

名阪国道沿線には、交通の利便さからさまざまな業種の企業が立地していて、近年、ゆめぼりす伊賀クリエイトランド(産業用地)を中心にメディカル分野の企業立地が進んでいます。また、本年度は三重大学・企業・伊賀市が連携して研究開発拠点の整備を行うことにより、ゆめが丘地内で三重大学の研究機能と企業のニーズを融合し、共同開発をはじめ企業の高度化や起業支援などによる新産業の創出を促進します。

#### ▶農村振興総合整備事業(上野西部地区) 1億4,039万円 (担当:本庁農村整備課)

農村地域の農地・農道・開水路などの農業基盤の整備と集落道・排水施設などの生活環境基盤の整備を実施することで、農業施設の維持管理費の軽減と居住環境の整備を進め、集落機能の向上を図ります。上野西部地区は平成16年度に事業採択され、平成21年度に完了予定です。

#### ▶循環型農業実現モデル推進事業 4,200万円 (担当:本庁農林振興課)

伊賀市バイオマスタウン構想に基づき、地域の遊休農地を活用して菜の花などの資源作物を栽培し、食品の自給率の向上と地域の景観形成を図りながら循環型農業を目指す「菜の花プロジェクト」を展開します。また、小型のBDF(バイオディーゼル燃料)製造プラントを整備し、三重大学の生物資源研究と連携することで、廃食油を利用したBDFの高度精製、利用を目指します。



## 5 交流基盤



▶伊賀線活性化促進事業 5,470万円 (担当：本庁企画調整課)

伊賀線の存続のため、伊賀鉄道㈱に対して運営費の補助を行い、市民の皆さんの移動手段の確保に努めます。また、利用促進を図るための児童や生徒の団体利用に対する助成や、そのほかの利用促進に向けた取り組みを行います。

▶情報通信格差是正事業 5,000万円 (担当：青山支所総務振興課)

情報通信格差の是正を図るため、辺地地区である「高尾床並」「福川」「諸木」の3地区に移動通信用鉄塔施設を整備します。

▶腰山福川線道路改良事業 1億3,000万円 (担当：青山支所産業建設課)

市道腰山福川線は福川地区と諸木地区を結ぶ路線です。現況は幅員が狭小でカーブが多く非常に見通しが悪いうえ、奥地にはリゾート施設やゴルフ場があり、市外の利用者も多いことから2車線の道路に整備します。また、広域農道整備との連携も考慮した効率的な整備を行い、交通の円滑化を図ります。

改良工事延長= 1,000 m 幅員= 8.0 m

▶ゆめが丘摺見線道路新設事業 1億円 (担当：本庁道路河川課)



市道ゆめが丘摺見線は、ゆめが丘から広域農道に連結し、国道165号までを結ぶ路線です。ゆめぼりす伊賀クリエイトランドには、多くの企業が進出し、青山方面からの通勤者または物資の輸送などが急増しています。また、ゆめが丘は人口が急増しており、青山の工業団地までの交通量も多くなっています。今後アクセス道路として重要性が増す路線であるため道路を新設します。

工事延長= 3,500 m 幅員= 7.0 m

## 6 しぐみ

▶地区市民センター整備事業 1億7,325万円 (担当：本庁市民生活課)

市民の皆さんと接する行政の地域窓口として、また、住民自治の活動拠点の提供にあたる自治センター機能を包含した施設として地区市民センターの整備を計画的に行っています。本年度は布引地区・島ヶ原地区の市民センター改築や新築予定個所における地区市民センターの新築に向けた設計業務委託などを行います。

▶地域活動支援事業 1,400万円 (担当：本庁市民生活課)

本市の将来像と目標である「ひとが輝く 地域が輝く」自立と共生のまちの実現を確実なものとするため、自治基本条例第23条第2項の規定に基づき、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、個性的で魅力あふれる地域づくりを推進しています。住民自治協議会支援については「地域まちづくり計画」に基づいた新規事業などに対し助成を行います。(1団体につき限度額50万円) また、市民公益活動支援として、NPOなどの市民団体の育成および公益活動の促進のため、市民団体からの提案公募や、行政の課題をテーマとした課題研究などに対する助成を行います。(それぞれ1団体につき限度額10万円か30万円)

▶住民自治協議会推進経費 4,341万円 (担当：本庁市民生活課)

各地区における住民自治協議会の運営や、地域が主体となり取り組むまちづくり事業を支援します。自治基本条例の趣旨の通り、協議会と連携した新しいまちづくりを実施することで地域の活性化を図ります。

